

黒髪山のふもとで 焼き物と湯を愛でる

黒髪山の自然に囲まれて多数の窯元が点在しています。
また、温泉も魅力のひとつ。
そのエリアを黒髪山陶芸作家村として、さまざまなイベントが行われています。10月には「黒髪山のはしごランチバル」として、焼き物と食のイベントを、11月には「秋の窯開き」として焼き物の祭りが行われ、いずれも盛況でした。
「イベントの途中でお風呂休憩してから…」というPRもしながら、魅力を高める取り組みをされています。



北方で、食でお腹を満たし 湯でこころを満たす

北方は言わずと知れたちゃんぽんの町。ちゃんぽん街道として売り出されています。さらにそれ以外の食事処も通りに並んでいます。
観光客の方や地域の方へ、食をキーワードに魅力を発信されています。
少し行けば入浴施設もあり、温泉と食が一度に楽しめるエリアとして今後も注目です。



武雄には入浴施設がこんなにたくさん！

〔☎電話番号の市外局番はすべて 0954〕

- 武雄温泉（元湯、蓬莱湯、鷺乃湯、殿様湯、家老湯、柄崎亭）☎23-2001
- 楼門亭 ☎23-2111
- 懐石宿 扇屋 ☎22-3188
- ホテル 春慶屋 ☎22-2101
- 国際観光旅館 なかます ☎22-3118
- 旅館白さぎ荘 ☎22-2240
- 湯元荘 東洋館 ☎22-2191
- 大正浪漫の宿 京都屋 ☎23-2171
- パーソナルホテル YOU ☎23-2007
- 若松屋旅館 ☎22-3101
- 武雄温泉ハイツ ☎23-8151
- ペンションピクニック ☎20-0044
- 武雄温泉ユースホテル ☎22-2490
- 森のリゾートホテル ☎23-4477
- 港湾保養所みなと荘 ☎23-6138
- 御船山観光ホテル ☎23-3131
- 竹林亭 ☎23-0210
- 武雄センチュリーホテル ☎22-2200
- セントラルホテル武雄 ☎20-1234
- 北方温泉四季の里 七彩の湯 ☎36-5926
- 奥武雄温泉 風の森 ☎20-6060
- 黒髪の森温泉 天童の湯 ☎0120-870-026



▲黒髪の森温泉 天童の湯



▲武雄温泉元湯



▲北方温泉四季の里 七彩の湯

宮原忠直をはじめ、武雄温泉を愛した先人たちが熱い思いを抱いて、温泉のあるまちづくりに尽力したように、
市役所新庁舎開庁や新幹線開通など、大きく変貌する武雄のまちを、
更に魅力的で誇れるものにするため、皆さんと一緒にまちづくりについて考えたいと思います。
武雄には何があり、何ができるのか。
まずは、身近にある武雄の魅力に気づき、それを伝えることから始めませんか？

温泉周辺のまちづくりは 頑張りよるばい！

温泉を取り巻く地域、その地域の魅力を高めようと頑張っている取り組みがあります。

温泉通りで点を線でつないで

楼門にまっすぐ伸びている温泉通り。
その周辺の事業所の代表の方が集まって結成されている「武雄温泉通り振興会」。温泉通りに行き交う人たちをもっと増やしたいという目的で活動されています。
今年9月には「オトナたちの夜会」と題したイベントを実施し、賑わいづくりに成功。
毎月1回の例会などを通して連携を深めています。例会はだれでも参加できます。興味がある方は事務局までご連絡ください。
現在、通りの空き家を利用した出店者も募集中です。（問い合わせ）
温泉通り振興会事務局（京都屋内）☎0954-23-2171



保養村は遊びの宝庫

保養村には県立宇宙科学館やボート乗り場、広場など遊べる場所がたくさん。手づくりの冒険遊び場「こんねくんね」も登場し、体験型の遊び場が充実。
その保養村周辺には、入浴施設が点在しています。
現在、地元の花島・永島・溝の上の地区の方を中心に結成された保養村協会と、旅館・施設など事業所の方で構成された保養村会で、エリアとしての魅力を創出されています。
大人も子どもも思い切り遊んで、温泉に入る。
自然溢れる保養村ならではの体験をしてもらいたい。
そんな熱い思いをもって事業を進められています。



温泉があるありがたさ！ 温泉に感謝！

毎年4月1日（平成30年は3月）に武雄温泉楼門周辺で開催される「武雄温泉春まつり」。
桜山にある柄崎神社のお祭りで大変賑わいます。
賑やかな祭りとともに、温泉の恵に感謝する日があるって素敵ですね。



▲春まつりの宵神輿の様子